

容器包装プラスチックに危険なものを混ぜないで

皆さんご分别して出された容器包装プラスチックは、再商品化工場に運ばれて様々な製品にリサイクルされます。

最近、その処理過程において電子タバコやモバイルバッテリーの混入が原因と思われる発煙事故が急増しています。

3月22日（月）、中井町・大井町・松田町から収集された容器包装プラスチックの中に混入されていた禁忌品が原因とされる発煙事故が起きました。加熱式タバコが破碎処理の際に破断して発火したものと考えられています。このような事故は再商品化の業務を停止することになり、大きな支障をきたす場合がありますので、電子タバコやモバイルバッテリーなどの禁忌品は絶対に混入しないように皆さまのご協力をお願いします。



今回の事故の原因となった
実際の禁忌品の画像

【禁忌品の具体例】

電子タバコ・モバイルバッテリー
電池・ライター
カッターなど



鼓動（コドウ）

松田町長 本山 博幸

「おかげさま」のエールも頂きました。

あじさいが可憐な花を開き始めたこのごろ、町民皆さまにおかれましては、お健やかにお過ごしのことと存じます。

町民文化センターは、本年4月から松田町生涯学習センターに名称が変わり、7月には創設40周年を迎える記念イベントの際に施設の愛称を発表する予定です。

同センターの老朽化による様々な影響を改善するため、国の地方創生拠点整備交付金の採択を受け設置したオリンピック種目であるスポーツクライミング施設をめぐり、より同センター外壁の施設利用者が少なかつたことから、「税金のムダ」という趣旨での放送がなされました。室内大ホールにも同様の施設が設置されており、3年間で約750人が利用していることには触れることなく放送されました。しかし、TV番組コメントーターからは、「着眼点は良い。この番組

が良い宣伝だと思って頑張ってほしい」と聞かれていたことがあります。政運営に取り組んでまいります。

この事業による効果は「新たな賑わいの創出」だけでなく、「外壁などの補強により雨漏りが改善」され、「おかげさま」で長年の懸案事項解消にも一役を担いました。今やメディアの発信力の「おかげさま」にて放送以来問い合わせが増え、5月に行つた外壁のクライミング施設を使ったイベントの際には、子どもから大人まで1日約50人の参加者にて大変賑わいました。また別のTV番組では、町内の酒造会社の酒粕を使つた「美容マスク」を取り上げていただき、地元資源の有効活用による美容と健康への町の取り組みも紹介頂きました。

今回は「ムダの価値観」を問われているのではないか?と、その「おかげさま」にて、町が更に成長するキッカケを頂くことができました。

「民主主義に100点は無い」と聞